

# 最新事例に見る安全安心メールの導入実態

## 多摩大学付属聖ヶ丘中学高等学校様におけるスクールメールシステムの導入事例

株式会社スマート・ソリューション・テクノロジー

共働き夫婦の増加等で子供を持つ親の労働環境が変化し、教育環境の変化から塾通いが一般的になる等、子供を取り巻く環境が大きく変わりつつあります。そのような環境変化により子供が一人で活動する時間が長くなる中、子供が被害者となる犯罪の増加といった社会環境の変化もあり平成 17 年には内閣府、警察庁、文部科学省、経済産業省による「学習塾に通う子どもの安全対策推進委員会」が設置され「学習塾に通う子どもの安全確保ガイドライン」が発表されました。この中で学習塾に通う子どもの安全対策の具体策のひとつとして「子どもの登塾、退塾(入室、退室)の正確な時刻を保護者に告知するために、可能な範囲で設備・システムの構築に努める」ことが示され、各塾では通塾時の打刻管理システムの導入が進むと共に、保護者への安全・安心メールの配信に積極的に取り組んでいます。

夜間の通塾への対応として普及した安全・安心メールサービスですが、現在では学童の安全に対する保護者の意識の高まりを受け、先進的な小中高等学校において安全・安心メールを含む登下校管理システムの採用が進んでいます。

今回、弊社ピットタッチシリーズと連携する株式会社日立ソリューションズ・サービス様(以下、日立ソリューションズ・サービス)の「スクールメールシステム」を採用した多摩大学付属聖ヶ丘中学高等学校様へのインタビューを通じて実際の導入、運用状況をご紹介します。

**株式会社スマート・ソリューション・テクノロジー(以下、SST):** インタビューさせていただくにあたって、御校の特徴、教育方針、特徴をご紹介します。

**多摩大学付属聖ヶ丘中学高等学校様(以下、聖ヶ丘中学高等学校):** 当校は中高一貫教育であり、1 学年 120 名と都内の私立中高の規模では比較的小さい学校です。豊かな自然環境に恵まれた立地を生かして本質に迫る教育を旗に掲げ、実習、実験を授業に多く取り入れることで、座学だけでは得られない自身の身体と頭を使った教育を特色としています。

**SST:** すばらしいですね。実習はどのくらいの頻度で行われているのですか。

**聖ヶ丘中学高等学校:** そうですね、理科の実験は年間 100 回くらい実施していると思います。

**SST:** 100 回ですか。それは多いですね。

**聖ヶ丘中学高等学校:** 決まった実験だけではなく、こういう実験もやってみたいと生徒自ら提案して先生がサポートするというようなケースもあります。生徒が主体的に勉強していく場を用意するように心がけています。

**SST:** 玄関にニュージーランドへの留学案内のポスターを見かけました。英語教育に力を入れていらっしゃるのですか。

**聖ヶ丘中学高等学校:** 英語教育において留学というのは重要な体験だと考えています。これまでは 1 年単位の留学を支援していましたが、今年からは負担が少なく参加しやすい 2 ヶ月、3 ヶ月といった比較的短期の留学支援を始めました。今年も 1 月から 3 月の間に数人が参加予定です。

**SST:** 短期であっても学生の頃に留学するという体験は代えがたい経験ですね。

**聖ヶ丘中学高等学校:** 中学 3 年生は 2 月の中旬から 3 月の上旬までの約 3 週間、全員がニュージーランドへホームステイします。

**SST:** 全員ですか。

**聖ヶ丘中学高等学校:** 全員です。学校ではホームステイに向けて英語の教育を始めとした様々な研修プログラムを用意します。例えば先週は中学 2 年生が 2 泊 3 日でイングリッシュキャンプというテーマを決め英語漬けで 3 日間過ごすというプログラムを行いました。そのような様々なプログラムを通じてニュージーランドへ行くことがより良い体験になり、また多くの刺激を受けられるよう支援しています。生徒にとっても慣れないことが色々あって大変だと思いますが、大変さを含めて経験することが大切だと考えています。

**SST:** 英語が好きになりそうですね。

**聖ヶ丘中学高等学校:** 最近の子供たちは新しいことでも比較的抵抗感なく受け入れる素質を持っています。私たちの世代は英語という勉強させられているという意識があったと思うのですが、全くそういったことはありません。逆にイングリッシュキャンプに出席した先生方のほうが大変だったようです。3 日間のプログラムでは 120 名の生徒を 10 グループに分け、それぞれにネイティブの先生が 1 人ついて 3 日間まるまる英語漬けというプログラムでしたので、勉強というよりも体験と言った方が正しいかもしれません。



多摩大学付属聖ヶ丘中学高等学校 大嶋直樹氏

# 「スクールメールシステム」導入のきっかけ

**SST**：日立ソリューションズ・サービスのスクールメールシステムを導入されましたが、登下校管理が必要になったきっかけがあれば教えてください。

**聖ヶ丘中学高等学校**：「スクールメールシステム」を導入する前にも4年程、別のメール配信システムを導入していました。そのシステムは一斉配信だけのシステムで災害時や台風、雪、交通機関が乱れたりしたときや、天候により行事ができなくなりましたというような緊急連絡の時だけ利用していました。費用面での課題もあり色々と話を聞く中で日立ソリューションズ・サービス様から安全・安心メールの機能をもった登下校管理システムを提案頂き、登下校管理の中で安全という考え方も考慮すべきではないかと考えました。

**SST**：導入時期と現在の状況について教えてください。

**聖ヶ丘中学高等学校**：平成27年の9月から登下校管理サービスを導入しており、現在は中学1、2年生を対象に入れております。一斉に全学年に入れたほうが良いのではないかと意見もありましたが、導入するにあたってできるだけ混乱がないようにと考え、入学してくる年次の生徒から徐々に入れていき、6年後には全生徒が使えるようにしたいと考えています。

**SST**：高校生についても登下校管理をされる予定なのですね。遅くまで残って勉強している生徒がいることを考えてのことでしょうか。

**聖ヶ丘中学高等学校**：はい、その通りです。当校には自習用の学習室があり午後8：30まで学校に残って勉強している生徒もいます。保護者の方は学校で勉強しているのは分かっていると思いますが、実際に何時に学校を出たのかメールで通知されるとより安心して頂けるのではないかと考えています。高校生にもなりますと、自ら毎日自宅に下校をメールで知らせるという意識は持っていないですが、登下校管理としてカードをタッチするだけでするので簡単にメールを送信できます。保護者の方の要望も潜在的にあると思っています。

**SST**：保護者としてみたら高校生でも子供ですよ。

**聖ヶ丘中学高等学校**：そうです。やはり中学生の方が要望としてはより強いと保護者からの話などを聞いて感じます。

特に中学1年生だと小学校からの上がりたてで慣れていない環境だと思います。学習塾でもカードをタッチすると何時に教室に来て何時に帰りますという通知メールが保護者に送られてくるシステムがあるので、そういう経験をしてきた子供だと抵抗感もないし、保護者にとって安心感もあり学校選択の1つのきっかけとなっていると思います。

## メール配信サービスの運用状況



**SST**：スクールメールシステムの運用にあたって何か課題はありますか。今後の運用について何かお考えはありますか。

**聖ヶ丘中学高等学校**：昨年度から登下校管理として利用を始めたばかりなので、今後どういう展開になるか検討しているところです。サービスについては不具合もなく順調に利用しています。

安全・安心メール以外のメールの配信機能については、日常的に各学年の教員、部活の顧問がメールシステムを使って色々なお知らせを送ることも検討していますが、どこまでの情報を発信するか、あるいは、発信範囲をどうするか等を決める必要があるため現時点ではそこまでのシステムを開放していません。

**SST**：情報発信について保護者も敏感になる部分がありますか。

**聖ヶ丘中学高等学校**：情報発信することで保護者から学校に問い合わせが来るのが想定されるため、配信する情報については精査しないといけないといった課題が検討の中で議論になりました。

## 導入にあたっての課題

**SST**：導入にあたって手間や課題はありましたか。

**聖ヶ丘中学高等学校**：特に手間になったことはありません。人数が1学年120人なので生徒への周知やICカードを回収してシステムへ登録するといったことも順調に行えました。難しくはなかったです。カードの登録作業は日立ソリューションズ・サービス様に来て頂くのですが、今年は登録作業が1時間程度で終わりました。朝カードを集めて夕方返却するのですが、帰りには安全・安心メールが配信できました。

**SST**：保護者の方の反応はいかがでしたか。

**聖ヶ丘中学高等学校**：保護者に対してサービスの内容や趣旨を説明していますが、特に否定的な反応はなく好意的にご理解頂いていると考えています。

**SST**：逆に教員の方から子供たちがいたずらにリーダーに何度もタッチしたり、子供たちの使い方について保護者から問い合わせがあった時にどう対処すればいいのかという点について指摘があったと聞きました。実際にそのようなことはあったのでしょうか。

**聖ヶ丘中学高等学校**：特に何も起きませんでした。保護者からの問い合わせもありませんでした。唯一導入当初にメールが届いてくれるけれど本当にうちの子供来ていますか？という質問はありました。きちんと来ています、とお答えしました。システムを導入した意味が問われる出来事でした。

# 導入のメリット

**SST**：情報発信という点でメリットを感じて頂いていると思うのですが、それ以外の部分でメリットに感じていただいている点や保護者からの反応があればお聞かせください。

**聖ヶ丘中学高等学校**：やはり保護者における安心感です。ちゃんと学校に行っているのか、何時に下校したのか、その時間がわかるという点はメリットに感じて頂いていると思います。情報発信については今後の課題と考えています。

(**日立ソリューションズ・サービス**：子供の出欠情報は個人のマイページから申請することが可能ですのでうまく活用して頂くと、朝欠席対応の電話が減る等業務を削減できるのではないかと考えています。)

**聖ヶ丘中学高等学校**：現状、代表番号がすべて事務に集まってきているので7:30～8:10位に電話が集中しています。冬は風邪をひきやすくなるので電話が多くなります。出欠管理は現在帳簿で行っていますが、欠席連絡がシステムで見ることができると補助的な意味でメリットがあると考えていますし、先生方にも使ってほしい機能だと思っています。

## 「スクールメールシステム」採用の理由

**SST**：スクールメールシステムを採用した理由と弊社のピットタッチ・ビズをご採用いただいた理由を教えてください。

**聖ヶ丘中学高等学校**：他社も何社か比較しましたが、以前採用していたメールサービスに比べてコスト的にメリットがあったことや、導入に関わる手間が非常に小さく協力も頂けたこと等総合的に判断して「スクールメールシステム」を採用しました。中高の事務は4～5人しかいないので導入の手間やコスト削減できるのは非常に助かりました。

登下校管理サービスは似ているものも多いのですが、出欠学籍管理との連携や、メールの予約配信機能、配信時間設定等の細かい部分の比較で優位性を感じました。サービスの利用にあたっては手間が増えない範囲から始めたらどうかと提案を頂き業務が増えない範囲から利用を始めています。

**SST**：カードリーダーについてはいかがですか。

**聖ヶ丘中学高等学校**：他社のソリューションでは機器のレンタル費用がかかったり、台数あたりのユーザ数が決まっていたり、画面付きで高機能だけれども高価であったりという課題があったので日立ソリューションズ・サービス様からピットタッチ・ビズを紹介頂いたときにメリットを感じ、思い切って導入してみようということになりました。

**SST**：先ほど細かい機能に優位性を感じたとお話でした。

**聖ヶ丘中学高等学校**：スクールメールシステムはグループ管理や学年管理、組や部活、生徒、教職員で分けることができるので将来利用範囲を広げること考えるといろいろと利用できそうだと感じました。また、これまで使っていたシステムは学校側で属性を設定しなければならなかったのですが、このサービスは子供たちが自分で属性をいろいろエントリーすることが可能なので負担が大きく減りました。

**SST**：導入までにかかった期間はどれくらいでしたか。

**聖ヶ丘中学高等学校**：理事長先生の承認も含めて1～2か月程度と私自身では早くできたと考えています。別のメール配信サービスを行っていたという土壌があったのが大きかったと考えています。登下校管理というの付随して導入すると先生方や保護者からの問い合わせなどの対応を考えないといけないという懸念事項もありましたが、思いのほかスムーズにできました。

## 最後に

**SST**：登下校管理を導入して保護者の方からの評価はいかがですか。

**聖ヶ丘中学高等学校**：あまり反応はないのです。あって当たり前と捉えられている気がします。使い方についても特に問い合わせはなく、自然に使って頂いています。当校は駅から離れておりスクールバスで送迎しているので、きちんと面倒を見ているという環境を用意しなければ保護者は安心して子供を預けられないと思っています。そういった面からも登下校管理は当たり前のように入れているのではないかと考えています。

**SST**：サポートや製品に対しては満足していますか。

**聖ヶ丘中学高等学校**：満足しています。私たちが新しい使い方をした際に保護者からどういう反応が来るかわかりませんが、日立ソリューションズ・サービス様もスムーズに対処して頂いていますので心配はしていません。

**SST**：最後になりますが、今後の展開やご要望があればお聞かせ下さい。

**聖ヶ丘中学高等学校**：現在登下校管理が独立して運用されています。他の電子教材やICT環境を使った教育システムとどう連携、拡張していけるのか勉強していきたいと考えています。また、今はサービスの機能のうち半分も使いこなせていないので、先生方や保護者がどういう使い方を求めているのかについて検討していきたいと思っています。ホームルームで話したことを配信している学校も増えてきていると聞いていますので、そういった点も取り組んでいけたらと考えています。

**SST**：単にサービス、機器の課題に限らずサービス利用の背景までお話し頂き参考になりました。ありがとうございました。

## 聖ヶ丘中学高等学校様で採用した「スクールメールシステム」を提供する 日立ソリューションズ・サービス様からのコメント

当初は「スクールメールシステム」のオプションサービスである「一斉メール配信サービス」についてお問い合わせをいただきご提案いただきましたが、「スクールメールシステム」本来の「登下校管理」についてもご提案したところ、ピットタッチ・ビズを採用することで費用面、運用面での学校負担が軽いことをご評価いただき、導入していただきました。聖ヶ丘中学高等学校様では、実験実習のほか部活動にも積極的であることから、遠征時や研修時の保護者様へのご連絡や、出欠管理面での教職員様の負担軽減といった「スクールメールシステム」の特徴を生かしたIT化に向けてのご支援をさせていただきたいと考えております。

### 本レポートで紹介した製品は以下の通りです。

#### スクールメールシステム

提供元：株式会社日立ソリューションズ・サービス

<http://www.hitachi-ssc.co.jp/products/schoolmail/index.html>

日立ソリューションズ・サービスが提供するスクールメールシステムでは「登下校時メール配信サービス」「連絡網メール配信サービス」「出席簿自動作成サービス」の3機能をご利用いただけます。登下校時の通知はもとより、学校からのお知らせをメールに添付して送信したり、アンケートメールを簡単に作成して送信したりと様々なご利用方法が可能です。

#### ピットタッチ・ビズ

提供元：株式会社スマート・ソリューション・テクノロジー

<http://www.sstinc.co.jp/products/biz/item>

ピットタッチ・ビズは非接触ICカードのカードID (FeliCa IDm/Mifare UID) を読み取り、サーバへHTTP/HTTPSにより送信する単機能非接触ICカードリーダーライターです。

シンプルな機能でありながらNTPによる時刻設定、サーバ障害時のセカンダリサーバ指定、ネットワーク障害時のデータ再送機能、ボタン操作によるモード切替等高度なアプリケーションで利用できる機能を搭載しています。



#### <関連製品>

#### ピットタッチ・プロ2 登降園パッケージ

提供元：株式会社スマート・ソリューション・テクノロジー

<http://www.sstinc.co.jp/products/toukouen/item>

ピットタッチ・プロ2は、4.3インチLCDタッチパネル搭載のネットワーク対応非接触ICリーダーライターです。FeliCaカード、おサイフケータイ (FeliCa3者間通信のみ)、MIFAREカードに対応しています。

ピットタッチ・プロ2登降園パッケージは幼稚園や保育園における園児の登降園を管理するためのユーザインターフェース、機能を予め搭載しています。登園、降園等のステータスをタッチパネルで選択してカードをタッチするだけで簡単に打刻することができます。



本レポートおよびピットタッチシリーズに関するお問い合わせは  
株式会社スマート・ソリューション・テクノロジーまでご連絡下さい。



Smart  
Solution  
Technology, Inc.

技術を文化へ

株式会社スマート・ソリューション・テクノロジー  
ピットタッチシリーズに関するお問い合わせ

03-6265-0009

<https://www.sstinc.co.jp/contact>